

NEWSLETTER
of
The Japanese Society for Applied Animal Behaviour
No.23, January 2011

◇《寄稿》年頭挨拶

応用動物行動学会 会長 近藤誠司
(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授)

新年明けましておめでとうございます。本年も応用動物行動学会をよろしくお願いいたします。

2010年は、10年ぶりに宮崎で発生した口蹄疫と、例年がない猛暑の夏で記憶に残る年になりそうです。4月20日に宮崎県において確認された口蹄疫の発生は、最終的な終息宣言が8月27日となる大災害でした。この間、およそ29万頭のウシ・ブタが殺処分とされ、畜産関係の被害額は1400億円以上、関連産業の被害額だけでも950億円に上るとされています。

この問題は私ども畜産関係者にたくさんの課題を残すものです。前会長の佐藤先生は「こんな古い病気に対して未だに殺処分するしか手がないとは、獣医学は何をやって来たんだ」と嘆いておられました。30万頭もの家畜の処分方法も問題でしょう。より迅速に安楽死させる手法やその後の安全で素早い処理方法なども、今後検討していかなければならない課題だと思われます。最初の感染が、言われているように、見学者など人を介するものならこれまでとは異なる防疫方法も考えなければなりません。

この口蹄疫による災害は、いくつかの学会やエクスカージョンの中止という波紋を全国に及ぼしました。私どもの北海道でさえ例外ではなく、畜産農家への出入りの制限や共進会の開催中止などが相次ぎました。ウマは口蹄疫には感染しない動物ですが、ウマの生産者が他の畜種の生産者である場合も多く、また家畜運搬車は共通していることも多いことから、ウマ関係の催しものも次々と中止となりました。私は競技流鏝馬連盟の役職も務めておりますが、和種馬を使う流鏝馬競技の道内での定期大会も中止となりました。都府県の流鏝馬競技者から「ウマは関係ないのになぜ中止するのか」と問いただされました。確かに、都府県の大都市に居住する乗馬愛好家の方々には、一見ウマには無関係のように思われがちです。しかしながら、高い危機意識をもった北海道など家畜生産地域では、ウマ関係の催しを中止することには速やかにコンセンサスが得られ、また上記のようなご質問を寄せられた方も、縷々理由を説明したところ納得して頂けました。

口蹄疫の終息宣言が出された8月末は、例年なら北海道ではもう風が肌寒くなっている時期です。し



かし、2010年は9月始めの北海道でさえ30℃を越す地域がいくつもありました。もちろん、より南に位置する地域ではそれどころではなく、まさに猛暑が荒れ狂った夏でした。9月5日には京都府京田辺市で39.9℃を記録したと伝えられ、気象庁は同年9月1日、この猛暑を30年に1度の異常気象と認定しています。

多分、各地の家畜に対する暑熱の影響も大きなものがあつたでしょう。ウシなど季節繁殖ではない動物では暑いと繁殖成績が著しく低下します。2011年の5、6月の分娩は少なく、結果的に夏季の乳量は大きく落ち込むかもしれません。

家畜管理学という学問領域では、環境生理学と行動学が大きなウエイトを占めています。30～40年前には前者に関する研究が非常に盛んでありましたが、一応の結論が出たと見なされたのか、最近この分野の研究は多くはありません。いや、こうした温熱環境と家畜については生産という観点ではなく、アニマルウェルフェアの観点から行う研究が多くなったように思われます。ただし、観点が変わっただけで研究内容は先行研究とほとんど同じ、という例も見受けられます。温故知新とまでは言いませんが、既に行われた研究を踏まえていくことは重要です。また同時に、この分野の研究はまだまだ行うべき点があるように思えてなりません。

口蹄疫と30年に一度の猛暑は、我々がまだまだ追究していくべき分野が私どもの前に広がっていることを思い出させてくれる千載一遇のチャンスなのかもしれません。2011年の会員皆様の一層のご活躍をお祈りいたします。

以上

◇《告知》2011年度春季研究発表会の予告および演題募集

副会長・大会委員長 梶 光一(東京農工大学)

標記年次研究発表会を下記の日程と要領で開催いたします。本年は、日本畜産学会第113回大会期間(2011年3月27～29日)に関連学会として、日本家畜管理学会と共催で、3月28～29日に1つの会場で開催いたします。春季研究発表会の発表申込みを以下のように行います。ふるってご参加下さい。

開催日時:2011年3月28日(月)～29日(火)

28日 9:00～17:00(研究発表会・総会)

29日 9:00～12:00(研究発表会)

開催場所:東京農業大学厚木キャンパス(〒214-0034 神奈川県厚木市船子 1737)

発表会申込要領:

1)発表希望の方は、以下の担当者宛て、2011年2月14日(月)(必着)までに、講演要旨をメ

ールにて送信してください。

副会長(大会担当) 梶 光一 (E-mail: kkaji@cc.tuat.ac.jp)

2) 要旨原稿は、A4 サイズ 1 枚とし、講演要旨作成要領に従って、Word (保存形式は 2007 以前のもの) もしくは PDF ファイルで作製の上、添付ファイルで送信して下さい。要旨は白黒印刷されますので、写真や図を掲載される際にはご注意下さい。

講演要旨作成要領は、日本家畜管理学会ホームページ

<http://www.azabu-u.ac.jp/~labva/jslm/>

からもダウンロードできます。

3) 講演順序と講演時間については、プログラムが確定次第、発表者にお知らせいたします。発表用にマルチ プロジェクター (OHP/液晶) ならびにコンピュータ (Win & Mac) を事務局で用意いたします。

4) お問い合わせは、担当者 (上記のメールアドレス) へお願いいたします。



◇《告知》Animal 2011 (4 大会合同大会)のお知らせ

4 学会合同大会担当幹事

友永雅己 (京都大学霊長類研究所)

2011 年に開催予定の日本動物心理学会、日本動物行動学会、日本家畜管理学会、応用動物行動学会の 4 学会合同の大会の準備は、着々と進んでおります。この合同大会を機に学際的な交流が進むことを期待しています。

Animal 2011 (2011 年度 日本動物心理学会・日本動物行動学会・応用動物行動学会・日本家畜管理学会合同大会)

合同大会長および、各学会の大会長は下記のとおりです。

合同大会長・日本動物心理学会第 71 回大会長

渡辺 茂 (慶應義塾大学文学部)

日本動物行動学会第 30 回大会長

上田 恵介 (立教大学理学部)

応用動物行動学会 2011 年度秋期研究発表会会長

近藤 誠司 (北海道大学大学院農学研究科)

日本家畜管理学会 2011 年度秋期研究発表会会長

田中 智夫 (麻布大学獣医学部)

1 会期・会場

会期:2011年9月8日(木)~11日(日)

会場:慶應義塾大学三田キャンパス

2 研究発表

口頭発表とポスター発表を予定しております。発表申し込みの際に、どちらかを選択していただきます。発表要領の詳細は第2号通信でお知らせ致します。

口頭発表:15分(12分発表+3分質疑)

ポスター発表:A0サイズ(841mm×1189mm)まで

3 発表資格

主発表者は年度会費を納めた、四学会のいずれかの学会員であることが要件となります(学部学生の資格については下記参照)。発表申し込み時に、発表者の所属学会、および会員/非会員/学部学生の別を選択してください。特に、今大会は合同大会のため、発表については以下の2点にご留意下さい。

(1) 複数の学会に属する会員による発表

原則として、複数学会に所属する参加者が、主発表者として各所属学会から1件ずつ発表することができます。ただし、スロット数が限られているため、1名につき主発表者として1件の発表にまとめていただくよう、お願いいたします。

(2) 学部生の発表について

発表申し込み時、会員資格選択項目において『学部学生』を選択してください。

日本動物心理学会:責任発表者との連名であることが必要です。責任発表者1名につき学部生発表は1件までです。

日本動物行動学会・応用動物行動学会・日本家畜管理学会:本人が会員であれば可能です。

4 奨励賞

若手研究者の優れた発表に対し賞を授与します。本大会では、学会終了後に発表される各学会優秀発表賞の他に、学会期間中に発表される本大会限定の合同学会賞の選定を考えております。審査希望者は別途申し込みが必要となるエントリー方式を予定しております(日本家畜管理学会では学部学生は自動的にエントリーされます)。詳細については第2号通信でお知らせいたします。

5 参加・発表申込

大会ウェブサイトからの発表・参加申し込みおよび発表要旨登録は、2011年3月中開始予定です。

6 参加費・懇親会費

郵便振込によりお支払いください。振込用紙は第2号通信に同封いたします。

*下記の表で、学生とは[学部生+大学院生]を対象といたします。

		一般	学生
大会参加費	事前登録	7000円	5000円
	当日参加	8000円	6000円
懇親会費	事前登録	6000円	3500円
	当日参加	7000円	4500円

7 スケジュール

	受付開始	受付締切
各学会企画シンポジウム・ラウンドテーブル・自由集会申し込み	2011年3月1日	2011年3月31日
参加事前登録・研究発表申し込み・要旨登録	2011年3月1日	2011年4月30日
参加費・懇親会費 事前振込	2011年3月1日	2011年5月31日

8 託児所

合同大会では託児所の設置を検討しております。参加申し込みの際に利用希望の調査を行う予定です。

9 第2号通信とプログラムの発送予定

大会2号通信は2011年3月、プログラムは8月中の発送を予定しております。

10 大会ウェブサイト

<http://www.saitama-med.ac.jp/medlinks/animal2011/index.html>

大会ポスターPDFをダウンロードできます。随時情報を更新いたします。

11 Animal2011 に関する問い合わせ・連絡先

Animal2011 大会実行委員会メールアドレス: animal2011@psy.keio.ac.jp

◇ 編集後記

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。今号では、春に開催されます研究発表会と秋に開催されます Animal 2011（4 大会合同大会）のご案内を中心にお届けいたしました。

さて、会長の話題にもありましたように、去年は口蹄疫の問題で関係各所様々な影響を受けたことと思いますが、年明けから今度は高病原性鳥インフルエンザの発生が、各地で報告されております。日ごろから動物管理に携わる方々におかれましては、ご心配の多いことかと思いますが、毎日の防疫対策には十分にご注意ください。(ニュースレター担当: 茨城大 小針)